








第 三 二 號

1055

(裁決)行決後 覽回 長(部)局		帶 送 長 (部) 局		決行指定 大臣 大臣		決裁指定 永久		保存期限 受 領 番 號 陸 軍 禮 式 改 正 要 領 ノ 件	
				政 務 次 官 		參 事 官 		審 判 官 	
長 課 省 内 各 課		長 課 官 房 及		主 務 官 		副 官 		書 記 官 	
				主 務 官 		副 官 		書 記 官 	
				大 臣 官 房 領 受 出 給 昭 和 年 年 月 日		主 務 官 領 受 出 給 昭 和 年 年 月 日		審 判 官 領 受 出 給 昭 和 年 年 月 日	

政務官
書記官
同付(決行前)

(決行後)

審案
筆記者

陸 軍

兵 務 課

陸 軍



參謀總長及教育總監へ照會案

別紙ニ據リ陸軍禮式改正致度照會ス

陸密第五四七號

昭和十四年四月十一日



別紙

陸軍禮式改正要領

第一 改正ノ理由

現行陸軍禮式ハ明治四十二年九月ノ改定ニ係リ爾來歲ヲ閱スルコト將ニ三十年、其ノ間大正二年、大正七年及大正八年ニ於テ夫々一部ノ改正ヲ見タルモ未ダ全般的ノ改正ヲ實施セラルルニ至ラズシテ今日ニ及ベリ

1050
此ノ間世界史上ニ一新紀元ヲ劃セル歐洲大戦ノ勃發アリ我が國亦之ニ參加シ更ニ其ノ後ニ於テモ「シベリア」出兵ヲ始メトシ滿洲事變ニ至ル間幾多ノ派兵及事變アリテ軍ノ編制、制度、裝備、戰法等軍事上ニ於テ一大變革ヲ招來セシノミナラズ或ハ左翼的及右翼的思潮ノ隆替ヲ見或ハ個人主義、國家主義及國際主義思潮ノ消長ヲ來ス等一部人士ノ

國民思想及國體概念ニ於テ幾多ノ變遷推移ヲ經過シ之ガ影響ハ軍人ノ禮儀ニ關スル觀念及陸軍禮式ノ實施ニモ及ベリ之ニ伴ヒ數度ニ亘リ陸軍禮式改正ノ議起リシモ之ガ必要性ニ關スル認識ニ就キ當事者間ニ於テ意見ノ完全ナル一致ヲ見ルニ至ラズ爲ニ遂ニ全般的改正ハ遷延セラレテ今次事變ニ直面セリ

而シテ今次事變ニ於テハ軍隊ノ命脈タル軍紀ニ關シ國軍ノ一小部分ニ過ギズトハ言ヒ乍ラ其ノ弛緩ヲ實證セシムルモノアリテ或ハ統帥指揮ノ神聖ヲ冒瀆シ或ハ武士道的精神及躰ノ缺如ヲ暴露セリ

敬禮ヲ整正嚴格ニ實施シ軍紀ノ振作ト表裏兼該セシメンガ爲ニハ陸軍禮式ヲシテ現行通建軍ノ本義ト軍隊統率ノ本旨トニ合致セシムルハ勿論尙克ク軍事ノ進展、編制、裝備、服制等ノ改善等ニ適應セシムルヲ

要
ス

更ニ今次事變勃發以來ノ敎訓ニ徴スルニ現行陸軍禮式中其ノ實施特ニ
 戰時ニ於ケル施行ニ關シ明確ヲ缺キ爲ニ禮儀ヲ紊リ延イテハ軍紀ヲ犯
 スノ原因ヲ醸成セシモノ尠カラズ故ニ此等ノ改正ハ蓋シ一日モ忽ニス
 ベカラザルナリ

而シテ改正ニ關シテハ約三十年間ニ於ケル既往ノ經驗ニ基キ數次ニ亘
 リ檢討セラレタル基礎案ヲ有シアルノミナラズ一年有半ニ於ケル今次
 事變ノ敎訓ニ基キ既ニ概ネ結論ヲ待タルヲ以テ事變未ダ終局ヲ見ズト
 雖モ茲ニ陸軍禮式ノ改正ヲ斷行セントス

第二 改正ノ要旨

上下齊シク時ト所トヲ問ハズ禮儀ニ關スル 勅諭ノ趣旨ヲ奉體實踐ス

ベキ禮式ノ本義ニ關シテハ益々之ヲ強化擴充スルト共ニ軍人軍隊ヲシテ愈々建軍ノ本義ニ透徹シ禮式ノ施行ヲ之ニ適應セシムルヲ主眼トシ一般ニ禮式ヲ一層莊重嚴肅ナラシム

一、新ニ綱領ヲ掲ゲ禮儀及禮式ノ本義ヲ明徴ニシ精神ト形式トノ一致ヲ強調ス

(イ) 禮式ノ本義ハ禮儀ニ關スル勅諭ノ趣旨ヲ奉體實踐スルニ在ルコトヲ闡明シ且之ヲ基礎トシ禮式實施ノ爲ノ精神的要綱ヲ説述ス

(ロ) 禮儀ノ重要性ニ關シテハ時弊ニ鑑ミ稍々具體的ニ記述ス

(ハ) 禮式ノ本義ハ如何ナル場合ヲ問ハズ遵守スベキ旨ヲ明カニスルト共ニ戰時ニ於テハ指揮官ノ死傷等ノ爲益々禮式ノ本義ヲ恪守スルコトノ緊要ナルヲ明示ス

三、天皇、皇族及軍旗ニ關スル禮式ハ一層莊重嚴肅ナラシム

(イ) 現行禮式ヲ實情ニ即タル如ク合理化シ且一層莊重ナラシム

(ロ) 軍旗ニ對スル軍人ノ敬禮ハ軍旗ニ上覆ヲ附スルト附セザルトニ拘ラズ敬禮スルコトニ改ム

(ハ) 軍旗ニ對スル軍隊ノ敬禮ヲ明示ス

(ニ) 新ニ軍旗ノ敬禮ナル一章ヲ設ケ疑義ナカラシム

三、新ニ御眞影奉拜式及遙拜式等ニ關スル禮式ヲ定メ 天皇尊崇ノ念ヲ深刻ナラシムルト共ニ國體觀念ヲ明徴ナラシム

(イ) 御眞影奉拜式ハ主トシテ現行軍隊内務書ニ規定セル御眞影奉拜ノ場合ニ於テ行フコトトシ之ニ關スル儀式ヲ明示ス

(ロ) 遙拜式ハ戰地等ニ在リテ御眞影奉拜式ヲ行フコト能ハザル場合等

ニ於テ行フコトトシ之ニ關スル儀式ヲ明示ス

(ハ) 勅諭、勅語、令旨等奉讀ノ際ハ御眞影奉拜ノ場合ニ準ジ敬禮ヲ行フコトヲ明示ス

(ニ) 國歌ト共ニ新ニ國旗尊重ノ件ニ就キ明示ス

國旗及國歌尊重觀念ノ缺如ハ戰地等ニ於テ往々國際問題ヲ惹起スルコトアルニ鑑ミ外國國旗及國歌ノ尊敬ニ關シテモ附加ス

四 直屬上官ニ對スル敬禮ハ一層之ヲ重視ス

(イ) 停止敬禮ノ主義ヲ官衙學校竝ニ戰時各部隊ニモ徹底ス

(ロ) 臨時配屬（分遣、派遣等ヲ含ム）ノ直屬上官ニ對シテモ其ノ統帥

ノ本質ニ何等ノ差異ヲ認メザル主義ヲ明瞭ニシ以テ戰時又ハ事變ノ際新ナル指揮關係ニ於ケル統帥權ノ透徹ヲ期ス但シ其ノ實行性

ヲ確實ナラシム

五 各部將校ニ對スル軍隊ノ敬禮ニ關シテハ概ネ現行通トスルモ軍隊指揮權ニ關係ナキ禮式ハ各兵科將校ト各部將校トノ間ニ差別ナカラシ

メ國軍ノ團結ヲ強化シ平戰兩時ニ於ケル軍紀ノ確立ヲ期ス

(1) 天皇又ハ軍旗ニ對シ敬禮ヲ行フトキ等各部將校モ刀ノ禮ヲ行フコトトス

(4) 學校、官衙竝ニ戰時部隊ノ長タル各部將校モ其ノ部下及生徒等ヨリ停止敬禮ヲ受ケ又部下部隊ヨリ軍隊ノ敬禮ヲ受クルコトトス
六 戰地ニ於ケル禮式ニ關シ増補ス

(1) 戰地特ニ戰場ニ於テモ狀況上妨ナキトキハ敬禮ヲ行フヲ本旨トスルコトヲ明示ス

(ロ) 戦時特ニ戦地ニ於ケル儀式ニ關シ範圍等ヲ明示ス

七 時勢ノ進運及編制、裝備、服制ノ改善ニ伴ヒ所要ノ修正増補ヲ行フ

(イ) 航空ニ關スル敬禮ニ就キ増補規定ス

(ロ) 自動車化、機械化裝備ニ伴フ所要ノ修正増補ヲ行フ

(ハ) 都市ノ發達、交通ノ頻繁及高速化等ニ即應スル如ク禮式ヲ修正ス

(ニ) 照明ノ發達ニ伴ヒ夜間ノ禮式ニ關シ所要ノ修正ヲ行フ

(ホ) 制服着用ノ陸軍文官ニ對スル敬禮ヲ規定ス

八 禮式ニ關シ從來發布セラレタル單行軍令、陸普等ハ勿論操典、軍隊
内務書中ノ禮式關係事項ハ成ルベク整理蒐錄シテ實行ニ便ナラシム

但シ觀兵ノ制式ハ從來通各兵操典ノ記載ニ委ス

(イ) 軍旗ノ敬禮法

- (四) 武器携帯時ノ敬禮法
- (ハ) 命課布達式及離任式
- (ニ) 入隊式及除隊式
- (ホ) 勳章授與式
- (ヘ) 軍樂隊ノ敬禮法
- (ロ) 學校配屬將校等ニシテ學生生徒等ヨリ成ル部隊ヲ指揮セル場合ノ
敬禮法



九 從來ノ慣行ニシテ實行上支障ナキモノハ其ノ儘存置ス

十 用字ハ敎育總監部ノ典範用字例ニ據ル

1069

連帶課	大臣	決裁指定	件名	連帶票	
				官房御中	三月二十九日
省内各課	参考ノ爲他ノ連帶票名ヲ記入スルモノトス	連帶局長	陸軍禮式改正要領ノ件	兵務	三月二十九日
		課長		連帶還付期限	
		三月三十日迄			

1094

連帶課 省内各課	<small>参考ノ他ノ連帶課名ヲ記入スルモトス</small>	大臣	法裁指定	陸軍禮式改正要領ノ件	補任 恩賞 課御中 兵務	連帶票 三月二十九日
		印帶連 局長  長課 	連帶還付期限 三月三十日迄			

1068







連帶課	大臣	件名	軍軍情	連帶票
省内各課	局長	陸軍禮式改正要領ノ件	軍務部	三〇二十九
	局長		課御中	43
			兵務	43
	三月三十日迄			43
				9

690T

連帶 省 内 各 課	大臣	名 件 陸軍禮式改正要領ノ件	兵備課	連 帶 票	三 月 二十九 日
	局長		御中		
	局長				
	三月三十日迄	連帶還付期限			

14
馬

1070

連 帶 課 省 内 各 課	大臣 印 器 連 長 局     	決 裁 指 定 陸 軍 禮 式 改 正 要 領 ノ 件	戰 資 工 交 備 源 政 通 課 課 課 課 御 中	連 帶 票 三 月 二 十 九 日
			兵 務 	連 帶 還 付 期 限 三 月 三 十 日 迄

参考ノ爲他ノ連帶票名ヲ記入スルモノトス





1201

連 帶 課	大臣	法裁指定	件 名 陸軍禮式改正要領ノ件	銃砲課	連 帶 票 三月二十九日
		印帶局長		機械課	
省 内 各 課	參考ノ爲他、連帶票名ヲ記入スルモノトス	局長	御中	兵務	兵務
		課長			
		連帶還付期限			
		三月三十日迄			

1072

連帶課 省内各課	大臣	決裁指定	件名 陸軍禮式改正要領ノ件	衛生課 御中	連帶票 三月二十九日 兵務
	局長	連帶局		課	
参考ノ爲他ノ連帶課名ヲ記入スルモノトス	課長	連帶遼付期限			
	三月三十日迄				

1038

連帶課 省内各課	参考ノ爲他ノ連帶課名ヲ記入スルモノトス    	大臣	決裁指定	件名 陸軍禮式改正要領ノ件	主監衣建	連帶票 三月二十九日
		連帶印	局長		計査糧築 課課課課 御中 兵務	
			連帶還付期限			
			三月三十日迄			

10274

(裁決)行決後 覽回	帶 越		決行指定	大臣	決裁指定	永久	保存期限
	長(部)局	長(部)局					
	軍事		大臣	大臣	陸軍禮式改正委員會設置ニ關スル件	件名	番 號
	軍事		局長	局長		陸軍禮式改正委員會設置ニ關スル件	密 第 四 八 八 號 ノ 八
長 課	長 課	補 任	局長務主	副 官	書記官		起元廳(課名)
		軍事	局長務主	主 務	書記官		兵 務 課
			員課務主				
			房官臣大	課 局 務 主			
			了結領受	出 發 領 受	決 行 領 受		
			昭和 年 月 日	昭和 年 月 日	昭和 年 月 日		
			五月廿五日	五月廿五日	五月廿五日		

政務官 書記官 回付(決行前)

(決行後)

審 案 筆記者

陸軍省 14.5.20

陸軍省 4.5.19
補任課
車

別冊ニ依リ
 陸軍禮式修正案
 別冊ニ依リ
 陸軍禮式修正案
 別冊ニ依リ
 陸軍禮式修正案

1075

決 裁 案

一 陸軍省ニ陸軍禮式改正委員會ヲ設置ス

二 委員會ノ編成別紙第一ノ如シ

三 委員長ハ委員ヲ指揮シ別紙第二陸軍禮式改正要領ニ據リ成ルベ

ク速カニ別冊陸軍禮式改正案ヲ審議シ陸軍大臣ニ報告スルモノト

ス

右 決 裁 ヲ 乞 フ

右 決 裁 後

(陸密) 次官ヨリ參謀次長、教育總監部本部長、陸軍航空

總監部總務部長、東部防衛參謀長へ通牒案

陸軍禮式改正委員會委員別紙編成表ノ通命セラレタルニ付依命通牒

ス

追テ審議ノ細部ニ關シテハ委員長ヨリ連絡セシムルモ何分ノ便宜
供與相成度

陸軍第八四八號

昭和十四年五月廿七日



陸軍

別紙 第一

陸軍禮式改正委員會編成表

昭和十四年五月

陸軍

委員長	陸軍省兵務局長	陸軍少將	中村明人
委員	陸軍省兵務局長	陸軍砲兵大佐	田中隆吉
同	陸軍省兵務局長	陸軍騎重兵少佐	釘宮眞石
同	陸軍省軍務局長	陸軍騎兵少佐	大槻章
同	參謀本部	陸軍航空兵大佐	遠藤三郎
同	參謀本部	陸軍歩兵大尉	棚橋茂雄
同	教育總監	陸軍歩兵大佐	嶋澤尙信

同	同	同	同	同	同	同	同
參 東部防衛司令部	陸軍航空總監部	陸軍航空總監部	陸軍航空總監部	陸軍航空總監部	陸軍航空總監部	陸軍航空總監部	陸軍航空總監部
陸軍歩兵中佐	陸軍航空兵少佐	陸軍航空兵少佐	陸軍航空兵少佐	陸軍航空兵少佐	陸軍航空兵少佐	陸軍航空兵少佐	陸軍航空兵少佐
田 中 良三郎	寺 西 多美彌	宮 下 秀次	滝 上 孟 平	岡 田 崑 一	田 中 博 厚	林 璋	櫻 井 敬 三



別紙第三

陸軍禮式改正要領

昭和十四年
陸軍省

第一 改正ノ理由

現行陸軍禮式ハ明治四十三年九月ノ改定ニ係リ爾來歲ヲ閱スルコト將
 ニ三十年、其ノ間大正二年、大正七年及大正八年ニ於テ夫々一部ノ改
 正ヲ見タルモ未ダ全般的ノ改正ヲ實施セララルルニ至ラズシテ今日ニ及
 ベリ。

此ノ間世界史上ニ一新紀元ヲ劃セル歐洲大戰ノ勃發アリ我が國亦之ニ
 參加シ更ニ其ノ後ニ於テモ「シベリア」出兵ヲ始メトシ滿洲事變ニ至
 ル間幾多ノ派兵及事變アリテ軍ノ編制、制度、裝備、戰法等軍事上ニ
 於テ一大變革ヲ招來セシノミナラズ或ハ左翼的及右翼的思潮ノ隆替ヲ
 見或ハ個人主義、國家主義及國際主義思潮ノ消長ヲ來ス等一部人士ノ

國民思想及國體觀念ニ於テ幾多ノ變遷推移ヲ經過シ之ガ影響ハ軍人ノ禮儀ニ關スル觀念及陸軍禮式ノ實施ニモ及ベリ之ニ伴ヒ數度ニ亘リ陸軍禮式改正ノ議起リシモ之ガ必要性ニ關スル認識ニ就キ當事者間ニ於テ意見ノ完全ナル一致ヲ見ルニ至ラズ爲ニ遂ニ全般的改正ハ遷延セラレテ今次事變ニ直面セリ

而シテ今次事變ニ於テハ軍隊ノ命脈タル軍紀ニ關シ國軍ノ一小部分ニ過ギズトハ言ヒ乍ラ其ノ弛緩ヲ實證セシムルモノアリテ或ハ統帥指揮ノ神聖ヲ冒瀆シ或ハ武士道的精神及躰ノ缺如ヲ暴露セリ

敬禮ヲ整正嚴格ニ實施シ軍紀ノ振作ト表裏兼該セシメンガ爲ニハ陸軍禮式ヲシテ現行通建軍ノ本義ト軍隊統率ノ本旨トニ合致セシムルハ勿論尙克ク軍事ノ進展、編制、裝備、服制等ノ改善等ニ適應セシムルヲ

要ス

更ニ今次事變勃發以來ノ敎訓ニ徴スルニ現行陸軍禮式中其ノ實施特ニ戰時ニ於ケル施行ニ關シ明確ヲ缺キ爲ニ禮儀ヲ紊リ延イテハ軍紀ヲ紀スノ原因ヲ醸成セシモノ尠カラズ故ニ此等ノ改正ハ蓋シ一日モ忽ニスベカラザルナリ

而シテ改正ニ關シテハ約三十年間ニ於ケル既往ノ經驗ニ基キ數次ニ亘リ檢討セラレタル基礎案ヲ有シアルノミナラズ一年有半ニ於ケル今次事變ノ敎訓ニ基キ既ニ概ネ結論ヲ得タルヲ以テ事變未ダ終局ヲ見ズト雖モ茲ニ陸軍禮式ノ改正ヲ斷行セントス

第二 改正ノ要旨

上下齊シク時ト所トヲ問ハズ禮儀ニ關スル 勅諭ノ趣旨ヲ奉體實踐ス

ベキ禮式ノ本義ニ關シテハ益々之ヲ強化擴充スルト共ニ軍人軍隊ヲシテ愈々建軍ノ本義ニ透徹シ禮式ノ施行ヲ之ニ適應セシムルヲ主眼トシ一般ニ禮式ヲ一層莊重嚴肅ナラシム

一、新ニ綱領ヲ掲ゲ禮儀及禮式ノ本義ヲ明徴ニシ精神ト形式トノ一致ヲ強調ス

(イ) 禮式ノ本義ハ禮儀ニ關スル 勅諭ノ趣旨ヲ奉體實踐スルニ在ルコトヲ闡明シ且之ヲ基礎トシ禮式實施ノ爲ノ精神的要綱ヲ説述ス

(ロ) 禮儀ノ重要性ニ關シテハ時弊ニ鑑ミ稍々具體的ニ記述ス

(ハ) 禮式ノ本義ハ如何ナル場合ヲ問ハズ遵守スベキ旨ヲ明カニスルト共ニ戰時ニ於テハ指揮官ノ死傷等ノ爲益々禮式ノ本義ヲ恪守スルコトノ緊要ナルヲ明示ス

ニ天皇、皇族及軍旗ニ關スル禮式ハ一層莊重嚴肅ナラシム

(イ) 現行禮式ヲ實情ニ即スル如ク合理化シ且一層莊重ナラシム

(ロ) 軍旗ニ對スル軍人ノ敬禮ハ軍旗ニ上覆ヲ附スルト附セザルトニ拘
ラズ敬禮スルコトニ改ム

(ハ) 軍旗ニ對スル軍隊ノ敬禮ヲ明示ス

(ニ) 新ニ軍旗ノ敬禮ナル一章ヲ設ケ疑義ナカラシム

三、新ニ御眞影奉拜式及遙拜式等ニ關スル禮式ヲ定メ 天皇尊崇ノ念ヲ
深刻ナラシムルト共ニ國體觀念ヲ明徴ナラシム

(イ) 御眞影奉拜式ハ主トシテ現行軍隊内務書ニ規定セル御眞影奉拜ノ
場合ニ於テ行フコトトシ之ニ關スル儀式ヲ明示ス

(ロ) 遙拜式ハ戰地等ニ在リテ御眞影奉拜式ヲ行フコト能ハザル場合等

ニ於テ行フコトトシ之ニ關スル儀式ヲ明示ス

(ハ) 勅諭、勅語、令旨等奉讀ノ際ハ御眞影奉拜ノ場合ニ準ジ敬禮ヲ行フコトヲ明示ス

(ニ) 國歌ト共ニ新ニ國旗尊重ノ件ニ就キ明示ス

國旗及國歌尊重觀念ノ缺如ハ戰地等ニ於テ往々國際問題ヲ惹起スルコトアルニ鑑ミ外國國旗及國歌ノ尊敬ニ關シテモ附加ス

四 直屬上官ニ對スル敬禮ハ一層之ヲ重視ス

(イ) 停止敬禮ノ主義ヲ官衙學校竝ニ戰時各部隊ニモ徹底ス

(ロ) 臨時配屬（分遣、派遣等ヲ含ム）ノ直屬上官ニ對シテモ其ノ統帥ノ本質ニ何等ノ差異ヲ認メザル主義ヲ明瞭ニシ以テ戰時又ハ事變ノ際新ナル指揮關係ニ於ケル統帥權ノ透徹ヲ期ス但シ其ノ實行性

ヲ確實ナラシム

五 各部將校ニ對スル軍隊ノ敬禮ニ關シテハ概ネ現行通トスルモ軍隊指

揮權ニ關係ナキ禮式ハ各兵科將校ト各部將校トノ間ニ差別ナカラシ

メ國軍ノ團結ヲ強化シ平戰兩時ニ於ケル軍紀ノ確立ヲ期ス

(イ) 天皇又ハ軍旗ニ對シ敬禮ヲ行フトキ等各部將校モ刀ノ禮ヲ行フコトトス

(ロ) 學校、官衙並ニ戰時部隊ノ長タル各部將校モ其ノ部下及生徒等ヨリ停止敬禮ヲ受ケ又部下部隊ヨリ軍隊ノ敬禮ヲ受クルコトトス

六 戰地ニ於ケル禮式ニ關シ増補ス

(イ) 戰地特ニ戰場ニ於テモ狀況上妨ナキトキハ敬禮ヲ行フヲ本旨トスルコトヲ明示ス

(ロ) 戦時特ニ戦地ニ於ケル儀式ニ關シ範圍等ヲ明示ス

夫時勢ノ進運及編制、裝備、服制ノ改善ニ伴ヒ所要ノ修正増補ヲ行フ

(イ) 航空ニ關スル敬禮ニ就キ増補規定ス

(ロ) 自動車化、機械化裝備ニ伴フ所要ノ修正増補ヲ行フ

(ハ) 都市ノ發達、交通ノ頻繁及高速化等ニ即應スル如ク禮式ヲ修正ス

(ニ) 照明ノ發達ニ伴ヒ夜間ノ禮式ニ關シ所要ノ修正ヲ行フ

(ホ) 制服着用ノ陸軍文官ニ對スル敬禮ヲ規定ス

八 禮式ニ關シ從來發布セラレタル單行軍令、陸普等ハ勿論操典、軍隊

内務書中ノ禮式關係事項ハ成ルベク整理蒐録シテ實行ニ便ナラシム

但シ觀兵ノ制式ハ從來通各兵操典ノ記載ニ委ス

(イ) 軍旗ノ敬禮法

(ロ) 武器携帶時ノ敬禮法

(ハ) 命課布達式及離任式

(ニ) 入隊式及除隊式

(ホ) 勳章授與式

(ヘ) 軍樂隊ノ敬禮法

(ト) 學校配屬將校等ニシテ學生生徒等ヨリ成ル部隊ヲ指揮セル場合ノ

敬禮法

九 從來ノ慣行ニシテ實行上支障ナキモノハ其ノ儘存置ス

十 用字ハ教育總監部ノ典範用字例ニ據ル

陸軍禮式改正委員會編成表 昭和十四年五月

委員長	陸軍省兵務局長	陸軍少將	中村 明人
委員	陸軍省兵務局長	陸軍砲兵大佐	田中 隆吉
同	陸軍省兵務局長	陸軍砲兵大佐	釘官 良石
同	陸軍省軍務局長	陸軍騎兵少佐	大槻 章
同	陸軍省軍務局長	陸軍航空兵大佐	遠藤 三郎
同	陸軍省軍務局長	陸軍歩兵大尉	柳橋 茂雄
同	陸軍省軍務局長	陸軍歩兵大佐	島澤 尚信

同	同	同	同	同	同	同	同
参 東 部 防 衛 司 令 部	陸 軍 航 空 總 監 部	教 育 總 監 部 輜 重 兵 監 部	工 兵 監 部	砲 兵 監 部	騎 兵 監 部	第 二 育 俣 監 部	第 一 育 俣 監 部
陸 軍 少 兵 中 佐	陸 軍 航 空 長 少 佐	陸 軍 輜 重 兵 少 佐	陸 軍 工 兵 少 佐	陸 軍 砲 兵 少 佐	陸 軍 騎 兵 少 佐	陸 軍 歩 兵 少 佐	陸 軍 歩 兵 少 佐
田 中 良 三 郎	寺 西 多 美 彌	宮 下 秀 次	滝 上 孟 平	岡 田 崕 一	田 中 博 厚	林 稔 彦	櫻 井 敬 三

陸軍禮式改正委員會組織表 昭和十四年五月

委員長	陸軍省兵務局長	陸軍少將	中村 明 人
委員	陸軍省兵務局長	陸軍砲兵大佐	田 中 隆 吉
同	陸軍省兵務局長	陸軍糧食長少佐	釘 宮 眞 石
同	陸軍省兵務局長	陸軍騎兵少佐	大 槻 章
同	陸軍省兵務局長	陸軍航空長大佐	道 藤 三 郎
同	陸軍省兵務局長	陸軍歩兵大尉	柳 橋 茂 雄
同	陸軍省兵務局長	陸軍歩兵大佐	堀 田 尚 信

同	同	同	同	同	同	同	同	
参 東 部 防 衛 司 令 部	陸 軍 航 空 總 監 部	教 育 總 監 部 輔 官 監 部	工 兵 監 部	教 育 總 監 部 砲 兵 監 部	砲 兵 監 部	教 育 總 監 部 騎 兵 監 部	教 育 總 監 部 第 二 課 監 部	教 育 總 監 部 第 一 課 監 部
陸 軍 歩 兵 中 佐	陸 軍 航 空 長 少 佐	陸 軍 輔 官 長 少 佐	陸 軍 工 兵 少 佐	陸 軍 砲 兵 少 佐	陸 軍 砲 兵 少 佐	陸 軍 騎 兵 少 佐	陸 軍 歩 兵 少 佐	陸 軍 歩 兵 少 佐
田 中 良 三 郎	寺 西 多 壽 彌	宮 下 秀 次	滝 上 孟 平	岡 田 峯 一	岡 田 中 博 厚	林 璋 璋	根 井 敬 三	根 井 敬 三

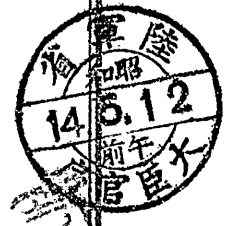


陸軍部

陸軍部 陸軍部 第九九號第一

四

陸軍部 陸軍部 第九九號第一



陸軍禮式改正委員會設置ニ關スル件回答

昭和拾四年五月拾壹日

參謀總長 載仁親

陸軍大臣 板垣征四郎殿



五月八日附陸密第六九九號ヲ以テ照會ニ係ル首題ノ件異存無之當部ヨリ參加セシムヘキ委員左記ノ通ニ付通牒ス

左記

- 第一課長 陸軍航空兵大佐 遠藤三郎
- 第三課課員 陸軍歩兵大尉 棚橋茂雄

忠 四八七

教密第五七三號

陸軍禮式改正委員會委員官氏名ノ件通牒

昭和十四年五月十五日

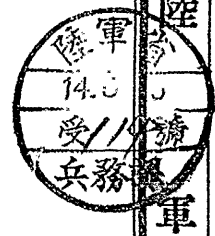
教育總監部庶務課長井出

陸軍省兵務局兵務課長 田中隆吉殿

五月四日陸密第六九九號首題ノ件左記ノ通ニ付承知相成度

記

教育總監部第一課長	陸軍歩兵大佐	鶴澤	尙信
同 第一課々員	陸軍歩兵少佐	櫻井	敬三
同 第二課々員	同	林	璋
騎兵監部々員	陸軍騎兵少佐	田中	博厚
砲兵監部々員	陸軍砲兵少佐	岡田	一
工兵監部々員	陸軍工兵少佐	滝上	孟平
輜重兵監部々員	陸軍輜重兵中佐	宮下	秀次



2 6 回

航空總庶務第四一六號



陸軍禮式改正委員ニ關スル件通牒

昭和十四年五月十二日

陸軍航空總監部總務部長

鈴木 率

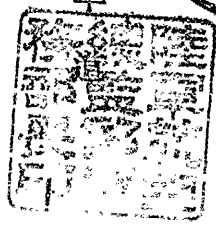
陸軍次官 山 脇 正 隆 殿

五月八日陸密第六九九號通牒ニ係ル首題ノ委員當部ヨリ左記ノ者參加セシムヘキニ付通牒ス

左 記

陸軍航空總監部々員 陸軍航空兵少佐 寺 西 多美彌

陸 軍



秘

密
四六
五

教庶第一四二四號

陸軍禮式改正委員會設置ニ關スル件回答

昭和十四年五月十日

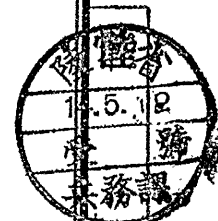
教育總監

西尾壽造

陸軍大臣板垣征四郎殿

昭和十四年五月八日附陸密第六九九號ヲ以テ照會ニ係ル首題ノ件
異存無之

但シ委員トシテ教育總監部第一課長ヲ加ヘラレ度



軍

密
四
八
三

東防人甲第四六號

陸軍禮式改正委員ニ關スル件回答

昭和十四年五月十一日

東部防衛參謀長

西村琢

陸軍次官 山脇正隆 殿

陸密第六九九號ニ依ル首題ノ件左記ノ如ク命ゼラレタルニツキ回答ス

左記

東部防衛參謀

陸軍歩兵中佐

田中良三郎



軍

陸密 四八三

260T

(裁決、行決後) 覽回		帶 運		決行指定		決裁指定		永久		保存期限	
長(部)局		長(部)局		大臣		大臣		件名		番受領	
				委		陸軍禮式改正委員會設置ニ關スル件		密第四八八號ノ三 起元廳(課名)		兵務	
長 課		長 課		官 次 官 次 務 政		官 次 官 次 務 政					
				長局務主		長局務主		書記官			
		軍事補任		副官		主務					
				長課務主		副官					
				員課務主		主務					
				房官臣大		課局務主					
				了結		出提		受領		發號	
				昭烈		昭烈		昭烈		昭烈	
				年		年		年		年	
				月		月		月		月	
				日		日		日		日	

政務官 書記官 回付(決行前)

(決行後)

審案 筆記者

陸軍 14.5.2 軍事

陸

14.5.2. 補任課

(陸密) 參謀總長及教育總監へ照會案

陸軍禮式改正委員會ヲ別紙ニ據リ設置(致度異存ナクハ)貴部ヨリ
參加セシメラルヘキ委員官氏名通牒相成度

陸密第六九九號

昭和十四年五月八日

(陸密) 次官ヨリ陸軍航空總監部總監部長及東部防衛參謀

長へ通牒案

前同文

陸密第六九九號

昭和十四年五月八日

但シ()内ヲ「セラルヘキニ付」ニ作ル



東 部 防 衛 司 令 部 一

備 考

- 一、委員長ハ所要ニ應ジ關係長官ト協議シ臨時必要ナル人員ヲ委員會ニ出席セシムルコトヲ得
- 二、委員ハ委員長ノ許可ヲ受ケ委員會ニ代理者ヲ出席セシムルコトヲ得

1101



陸軍

陸軍部 参密第五四七號

大本營 陸軍部 参密第五四七號 第一

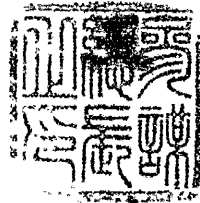
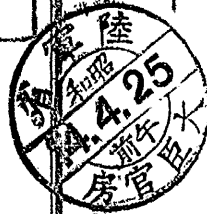
陸軍禮式改正要領ノ件回答

昭和拾四年四月廿四日

参謀總長 載仁親

陸軍大臣 板垣征四郎殿

首題ノ件ニ關シ陸密第五四七號ヲ以テ照會ノ趣具存ナシ



陸軍



教密第四三一號

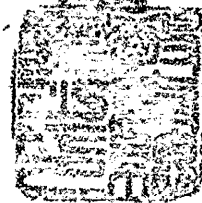
陸軍禮式改正要領ノ件回答

昭和十四年四月十四日

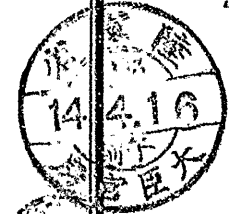
教育總監

西尾壽造

陸軍大臣板垣征四郎殿



首題ノ件ニ關シ四月十一日附陸密第五四七號ヲ以テ照會ノ趣具存
無之



軍

第 476 号